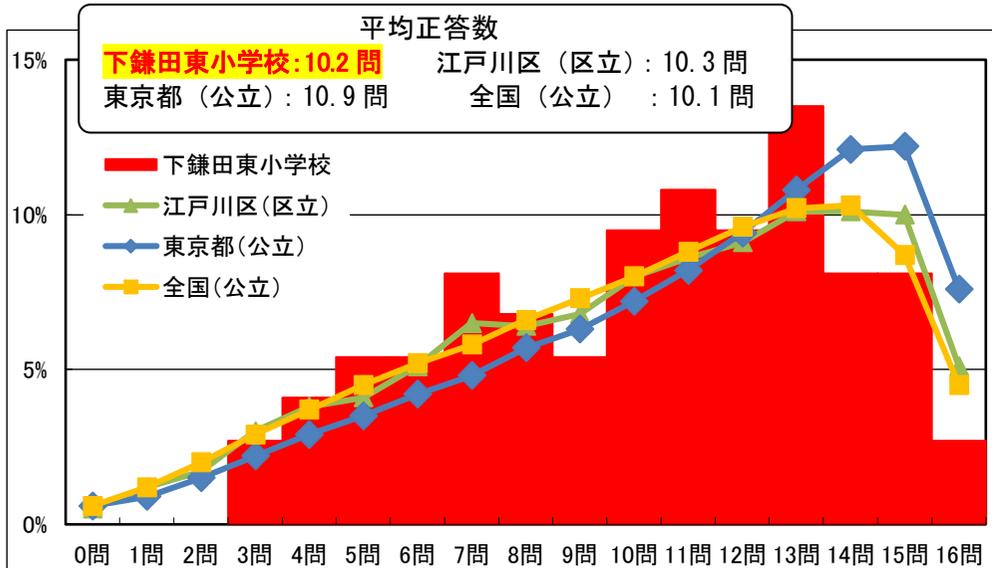


# 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 下鎌田東小学校

## 正答数分布



## <四分位における割合(都全体の四分位による)>

算数	上位 ← → 下位			
	A層 14~16問	B層 12~13問	C層 8~11問	D層 0~7問
下鎌田東小学校	18.9	23.0	32.4	25.7
江戸川区 (区立)	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都 (公立)	31.9	20.2	27.4	20.5
全国 (公立)	23.5	19.8	30.7	26.0

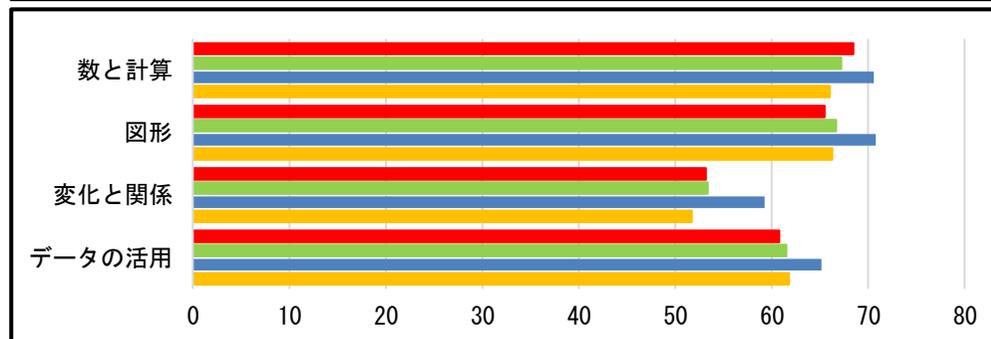
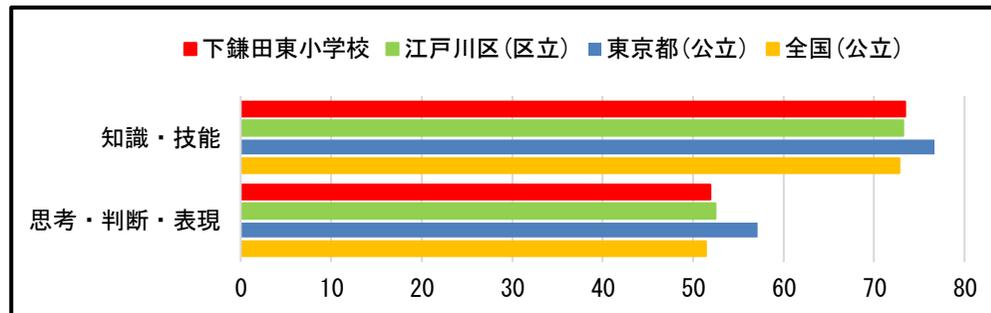
## 【平均正答率の差】

下鎌田東小学校	64%
江戸川区 (区立)	64%
東京都 (公立)	68%
全国 (公立)	63.4%
都との差	4ポイント

%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都 (公立) のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



## 【分析結果と授業改善に向けて】

### 【分析結果】

- ・領域別に全国平均正答率と比較すると、「数と計算」では、2.5%、「変化と関係」では1.5%上回っている。一方「図形」では0.8%、「データの活用」では1%下回っている。
- ・いくつかの手順を必要とする問題でのつまずきが多い。
- ・文章題で何が問われているかの理解ができていない。

### 【授業改善に向けて】

- ・図形の領域では既習事項を確実に身に付けられるよう、前学年までの学習内容を遡って単元の前に復習する。
- ・途中式を記入するなど、自分の考えを視覚化することで正しく計算する力を身に付ける。
- ・文章題に線を引いたり、印を付けたりして、問題を正しく把握できるようにする。